

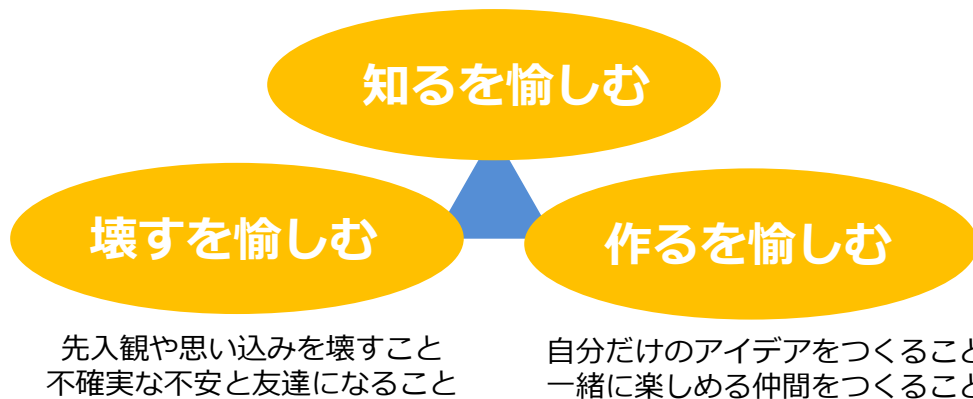
□ 2045年を逞しく生きる

2045年、人工知能が人間の能力を超える年と言われています。君たちはその時40台半ば。社会の中核として人工知能を持ったロボットの部下とともにプロジェクトに取り組んでいるかもしれません。もはや我々大人が想像もつかないような時代を逞しく生きていくために必要なことは、どんな困難も自ら乗り越える力を身につけておくこと。そのきっかけを作ることこそ高校教育の使命なのではないか。

そんな思いから学校設定教科「アントレプレナーシップ」を開講しました。企業など、社会が抱える実際の課題や、起こるであろうことをテーマに、授業や関係者から得た知識や現状をベースに、チームでディスカッションやプレゼンテーションを繰り返し困難を乗り越えながら納得が得られる解決策を導き出していきます。

□ アントレプレナーシップで学んで欲しいこと (by 電通)

「今」の知恵を正確に知ること
知恵を共有すること



□ 学習目標

自ら学び、考える力の育成
 課題発見解決能力の育成
 コミュニケーション能力の育成
 権限なきリーダーシップの育成
 プレゼンテーション能力の育成

□ 授業の概要(Key words)

2年生の選択教科
 PBL(Project Based Learning)
 提言、ものづくり、サービス開発
 ルーブリック評価
 2017年度 114名19チーム

□ 2017年度に取り組むテーマ

- ・ JICA国際交流プロジェクト (JICA)
- ・ 午後の紅茶10代ファン作りプロジェクト (麒麟ビバレッジ様)
- ・ アーティストの新たなファン層開拓プロジェクト (ビクターエンタテインメント様)
- ・ 社会に貢献するパンを開発するプロジェクト (神戸屋様)
- ・ たまぷらーざを10年後も住み続けたい街に！プロジェクト (たまぷらーザ商店会様他)